



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
購読料 1カ月5343円+税
電話 東京(03)5777-2351代表
©日刊自動車新聞社2018

7月31日
(火曜日)

パンク時のタイヤ補償サービス

ディーラーなどで導入進む

保証会社は
A-1活用 安心・割安をPR

パンク時に新品タイヤと交換する補償サービスがディーラーや自動車用品店などに広がっている。修理ではなく交換で対応することで安心感を打ち出し、割安感を顧客を囲い込む狙いがある。導入企業の急増を踏まえ、業務効率と顧客満足度の向上に人工知能(AI)を活用する保証会社も出始めた。

フォルクスワーゲングループ
プジョーパン(VGJ、ティル
・シエア社長、愛知県豊橋
市)は、正規ディーラーで新
品タイヤを購入・交換したユ
ーザーに3年間のパンク補償
を無料でつける。カーセブン
ディベロプメント(井上貴之
社長、東京都中央区)、イエ
ローハットなども同じような
サービスを実施中だ。三菱商
事エネルギーグループのカ
フロンティア(小出徹社長、
東京都千代田区)もタイヤの



注目されるタイヤ補償サービス(イメージ)

購入・取付予約サイト「タイ
ヤフッド」で今春、パンク補
償の内容を拡充した。

これまでもパンク時に無料
でタイヤを交換するサービス
はあったが、最近は一本のパ
ンクで2〜4本を同時交換す
るサービスが人気だ。車両や
タイヤの高性能化が進み、補
償のイメージが改善も重
ねており、最新版では保
証加入者が24時間、専用受け
付けフォームから補償を申請
し、適用承認後の入庫予約ま
でできるようになった。加入者
側、店舗側とも事務作業や待
ち時間を大きく減らせる。同
社は年内に4千社(8500
店舗)への導入を目指す。来
年をめどにパンク画像で保険
適用の有無をAIが判定でき
るようになり、業務効率をさら
に高める考えだ。

日本自動車連盟(JAF)
によるロードサービス出動件
数(17年度)で、タイヤのパ
ンクや破裂(バースト)、空
気圧不足は一般道路で36万5
401件と原因別で2位、高
速道路では2万6398件と
1位を占める。こうしたタイ
ヤトラブルの多さも背景に、
タイヤ補償サービスは今後も
普及しそうだ。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。